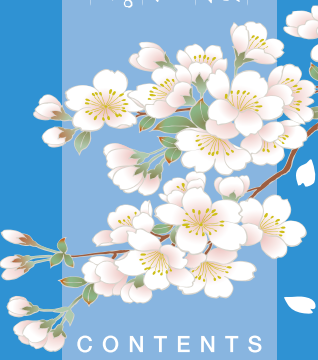


週末は山梨にいます。



CONTENTS

美しくて凛々しい山々に囲まれた山梨の春は花と水に彩られ美しい色に染まります。

富士山、北岳、甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳、茅ヶ岳…。山梨では、日本の名峰たちが春の訪れを教えてくださいます。盆地をぐるりと囲む雄大な山並は、空に近い頂あたりにだけ残雪を残し、裾野には、みるみる萌黄色が広がってゆく季節です。

芽吹きの新緑の季節へと、山々の色は命みなぎり、水色は深まり、花は色とりどりに。山梨の「美しい色」が、いちばん鮮やかに輝く季節です。

日本一の山国に訪れる、この春の鼓動。見て、触れて、感じてください。生命力が躍り出します。



特集
花と名水
美しい色

山梨の旅

日本のワインを世界に広めたい！素晴らしい素晴らしさを知ってほしい！
石和・勝沼・西沢渓谷エリア
笛吹市・山梨市・甲州市

豊かで良質な水に恵まれた山梨は日本酒づくりに最適です。
清里・小淵沢・葦崎エリア
北杜市・葦崎市

森と花に囲まれた山梨に住んで、共生する素晴らしさを実感。
大月・都留エリア
大月市・都留市・上野原市・道志村・小菅村・丹波山村

「ちょっとひと息」至福の大地、名水あるところに、名湯あり
山梨の温泉
富士山麓／八ヶ岳／甲府盆地／巨摩山地・富士川流域

僕の育った山梨の風物が自然が作品のモチーフになっている。
富士川流域・南アルプスエリア
南アルプス市・身延町・早川町・南部町・増穂町・鵜沢町・市川三郷町

山梨の風土が育んだ伝統工芸「甲州印伝」
甲府・昇仙峡エリア
甲府市・甲斐市・中央市・昭和町

晴れ着の富士山を撮りたくて、僕は山梨に移住してきた。
富士山・富士五湖エリア
富士河口湖町・富士吉田市・山中湖村・鳴沢村
忍野村・西桂町

イベントカレンダー
特典クーポン・施設案内
交通のご案内

花と名水、美しい山梨キャンペーン
観光&イベントガイドブック
2010.4.1 ▶ 6.30



山梨の旅

01 桃源郷からはじめる果実と花と水の旅

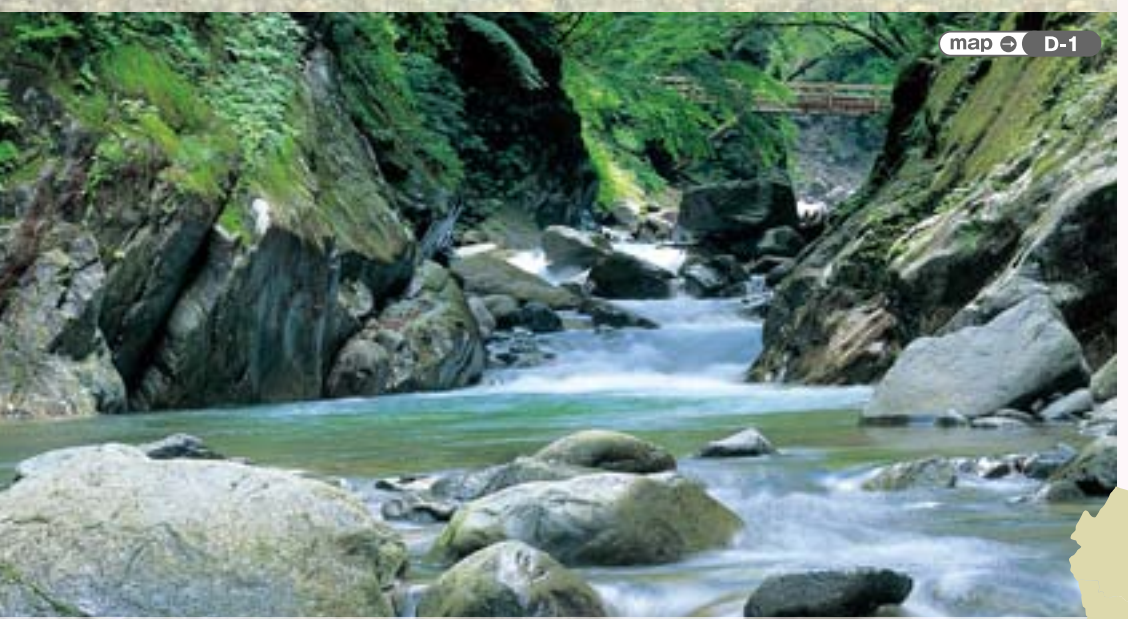
石和・勝沼・西沢渓谷エリア（**笛吹市・山梨市・甲州市**）

ふるさとの流れ「笛吹川」を、下流から上流へとたどってみましょう。
春らんまんの桃源郷から、雄大な国立公園の源水地まで、
笛吹川の流れがダイナミックに変化する旅をナビゲーションしてくれます。



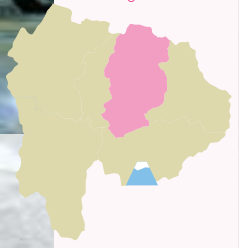
map D-3

花 Flower
桃源郷の里
白雪残る甲斐の山々をバックに鮮やかなピンク色の絨毯がどこまでもどこまでも続く…。山梨への旅のはじまりは、甲府盆地の玄関口にひろがる春色いっぱいの桃源郷から。桃の花畑に、スモモの花の白色、菜の花の黄色、そして桜の花がいに咲きそろう、日本一の春色が出迎えます。



map D-1

名水 Water
春の西沢渓谷
原生の森に美しい滝と淵が連続し、見るものを圧倒する西沢渓谷。有名な「七ツ釜五段の滝」をはじめ、森と水が織りなす神秘的な渓谷美は、国立公園の源水地ならではの、奥秩父の秘境といわれます。新緑の季節、また、シャクナゲの群落の花をつける5月上旬から中旬もおススメです。



日本には、こんなにも素晴らしいワインの産地があり、すごいワインが造られているんだと、世界中に伝えたい。

「始まりは2003年。フランスにワインの勉強に行こうと考えた僕は、その前に、日本のワインや葡萄酒のことも知っておこうと、勝沼を訪ねたんです。週末を利用しての気軽な旅。ところが、ワイナリーを回り、醸造家と話をし、ワインをテイステイングするうちに、何かが変わっていきましました。「日本のワイン、すごいじゃないか！って、素直に感動したんですね。そして、もつとちゃんと勉強したい」と。それから毎週勝沼へ。どんどん「甲州」に魅せられて、気がつけば軽トラで畑を回り、「地元の人々と一緒に世界最高峰のワインを作りたい」と、葡萄栽培や醸造にも参加するようになっていきました。

「山梨のワインは甲州葡萄から作られる白ワイン「甲州」が代表的な銘柄なのですが、甘口から辛口、重いものから軽いものまでと実にバラエティ豊富です。実は、こういうワインって、世界中を探しても1〜2種類しかない、非常に珍しいんですよ。しかも、狭い地域の中に非常に数多くのワイナリーが密集していて、それぞれ造詣の深い醸造家や、葡萄の生産段階からこだわりを持って作っておられる。文化があるんです。本当に素晴らしい。僕は、この事実を世界中の人に知ってもらい、味わって欲しいと思っています」。

芽吹き始めた葡萄畑に、心躍る春。大山さん達の挑戦は、今年もすでに始まっています。

賢人が語る山梨の花と名水



日本のソムリエ 甲州ワイン伝導師
ソムリエ 大山政弘さん
30歳でソムリエ資格を取得。山梨県甲州市勝沼町で素晴らしい甲州種ワインに出会い醸造家の情熱に触れ、国産ワインの勉強や普及活動を始め現在に至る。甲州市勝沼町でオリジナル甲州ワイン（百農民（ひゃくのうたみ））を造っている。

